

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	総合国語ⅡA (E、C)
科目基礎情報					
科目番号	0192		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般科目		対象学年	3	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	『現代文B 下巻』(大修館書店),『新版三訂新訂総合国語便覧』(第一学習社),『新しい常用漢字』(数研出版),『改訂版 漢字とことば 国語学習課題』(尚文出版)				
担当教員	畑 恵里子				
到達目標					
技術者に必要な人間性,国際性,協調性及び英語による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	論理的文章を読解し,論理構成や論の展開を把握した上で,論旨を客観的に理解できる。	論理的文章を読解し,論理構成や論の展開を把握した上で,論旨を客観的に理解できると認められる。	論理的文章を読解し,論理構成や論の展開を把握した上で,論旨を客観的に理解することができない。		
評価項目2	文学作品を鑑賞し,作品の意義についての意見を,章でも口頭でも表現できる。	文学作品を鑑賞し,作品の意義についての意見を,章でも口頭でも表現できると認められる。	文学作品を鑑賞し,作品の意義についての意見を,章でも口頭でも表現することができない。		
評価項目3	現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できる。	現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できると認められる。	現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	高度な評論・文学作品を精読していく。高校3年レベルの検定教科書の作品を中心に採りあげる。検定教科書の他,映像も取り入れて授業を進める。レポート課題等を適宜与える。				
授業の進め方・方法	講義形式を主とする。グループ学習を必要に応じて用いる。				
注意点	<p>【成績の評価方法・評価基準】 定期試験(70%)を中心に,小テスト,提出物,講義内質疑等(30%)を加えた総合評価とする。日本漢字能力検定・日本語検定等も推奨し,級に応じて加点对象とする(上限10%)。到達目標を評価基準とする。</p> <p>【備考】 予習・復習は必ず行う。 初回講義時にはノートのとりかた等を指示する。 辞書は毎回必携とする(紙媒体・電子媒体を問わない)。 検定教科書の他,映像を使用した講義を行う。 メッセージ:暗記するだけではなく,「自分で考える」ことを意欲的に実践してください。</p> <p>【科目の位置付け】 先に履修する関連科目 現代文Ⅰ,Ⅱ 古文Ⅰ,Ⅱ 総合国語ⅠA,ⅠB 後で履修する関連科目 国語国文Ⅰ,Ⅱ</p> <p>【連絡先】 研究室 B棟3階(B-301) 内線電話 8904 e-mail: e.hata@maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@にしてください)</p>				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス説明,評論 内田樹「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」	論理的文章を読解し,論理構成や論の展開を把握した上で,論旨を客観的に理解できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できる。	
		2週	評論 内田樹「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」	論理的文章を読解し,論理構成や論の展開を把握した上で,論旨を客観的に理解できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できる。	
		3週	評論 山崎正和「文明と文化の教育」	論理的文章を読解し,論理構成や論の展開を把握した上で,論旨を客観的に理解できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できる。	
		4週	評論 山崎正和「文明と文化の教育」	論理的文章を読解し,論理構成や論の展開を把握した上で,論旨を客観的に理解できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できる。	
		5週	映像作品による講義	文学作品を鑑賞し,作品の意義についての意見を,章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できる。	
		6週	映像作品による講義	文学作品を鑑賞し,作品の意義についての意見を,章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め,その特徴を把握できる。	

2ndQ	7週	映像作品による講義	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	8週	中間試験	
	9週	短歌 創作	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	10週	短歌 創作	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	11週	短歌 創作	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	12週	小説 三島由紀夫「美神」	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	13週	小説 三島由紀夫「美神」	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	14週	小説 三島由紀夫「美神」	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	15週	小説 三島由紀夫「美神」	文学作品を鑑賞し、作品の意義についての意見を、章でも口頭でも表現できる。現代日本語の基本的知識への理解を深め、その特徴を把握できる。
	16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	3	前5,前6,前7,前12,前13,前14,前15,後11,後12,後13,後14,後15
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。	3	前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後11,後12,後13,後14,後15
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後14,後15

				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	3	前5,前6,前7,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0